

令和 6 年度

九州農政局管内国営事業総合支援業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
土地改良技術事務所

事業名	土地改良技術	相見言語	(21 21)
業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務		

事業名	土地改良技術	業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務	業務別業務名:九州農政局管内国営事業総合支援業務	備考
直接経費(電子成果品作成費を除く)		数量	単位	単 価	金 額
・直接経費		1.000	式		338,000
・・直接経費		1.000	式		338,000
・・・旅費交通費(打合せ)		1.000	式	74,000	74,000
S63011 打合せ旅費(最終) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,100km L(100km以上)		1.000	回	74,456	74,456
合 計					74,456
・・・旅費交通費(一つ瀬川地区)		1.000	式	118,000	118,000
S63011 技術検討会(一つ瀬川・一般交通) 一般工種,着手前・最終,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,10 0km L(100km以上)		1.000	回	104,866	104,866
T00004 レンタカー費用(一つ瀬川地区) 1500CC以下		1.000	式	12,935	12,935
合 計					117,801
・・・旅費交通費(宇城地区)		1.000	式	115,000	115,000
S63011 技術検討会(宇城・一般交通) 一般工種,着手前・最終,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,10 0km L(100km以上)		1.000	回	100,274	100,274
T00005 レンタカー費用(宇城地区) 1500CC以下		1.000	式	14,598	14,598
合 計					114,872
・・・成果物作成費		1.000	式	14,000	14,000
S63023 電子納品版業務報告書作成 3, A - 4,300,5cm,0		1.000	式	13,923	13,923
合 計					13,923
・・・公開用成果物の作成		1.000	式	17,000	17,000
T00001 公開用成果物の作成		1.000	式	16,833	16,833
合 計					16,833

事業名	土地改良技術					
業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務					
業務別業務名:九州農政局管内国営事業総合支援業務						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S02115	技術員 技術員		人	33,600		歩A・単A
	*** S 単 - 2号 ***					
S63003	準備作業 設計労務(直接人件費内業)		式	311,600		歩A・単A
	*** S 単 - 3号 ***					
S63003	外部技術者の選定 設計労務(直接人件費内業)		式	121,800		歩A・単A
	*** S 単 - 4号 ***					
S63003	技術検討会の企画・結果取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	424,800		歩A・単A
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	成果品とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	264,400		歩A・単A
	*** S 単 - 6号 ***					
S63010	打合せ(初回:Web) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日		回	60,900		歩A・単A
	*** S 単 - 7号 ***					
S63010	打合せ(中間:Web) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0日		回	52,100		歩A・単A
	*** S 単 - 8号 ***					
S63010	打合せ(最終:対面) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	121,800		歩A・単A
	*** S 単 - 9号 ***					
S63010	技術検討会出席 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	243,600		歩A・単A
	*** S 単 - 10号 ***					
S63011	打合せ旅費(最終) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,100km L (100km以上)		回	74,456		歩A・単A
	*** S 単 - 11号 ***					
S63011	技術検討会(一ツ瀬川・一般交通) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L (100km以上)		回	104,866		歩A・単A
	*** S 単 - 12号 ***					
S63011	技術検討会(宇城・一般交通) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L (100km以上)		回	100,274		歩A・単A
	*** S 単 - 13号 ***					
S63011	外部技術者(一ツ瀬川・一般交通) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L (100km以上)		回	51,161		歩A・単A
	*** S 単 - 14号 ***					
S63011	外部技術者(宇城・一般交通) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L (100km以上)		回	48,865		歩A・単A
	*** S 単 - 15号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 3, A - 4 ,300,5cm,0		式	13,923		歩A・単A
	*** T 単 - 1号 ***					
T00001	公開用成果物の作成					
			式	16,833		歩A・単A
	*** T 単 - 2号 ***					
T00002	外部技術者 謝金(一ツ瀬川地区)		人	65,523		歩A・単A
	*** T 単 - 3号 ***					
T00003	外部技術者 謝金(宇城地区)		人	63,227		歩A・単A
	*** T 単 - 4号 ***					
T00004	レンタカー費用(一ツ瀬川地区)					

事業名	土地改良技術					
業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務					
業務別業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務					
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04007	技術員	1,000	人	33,600	33,600	
	合 計				33,600	算出数量 1,000 人
	単 価				33,600	
	*** S 単 - 2号 ***					
S63003	準備作業		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.00人 2.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	2.00人 1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	2,000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)	2,000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)	1,000	人	38,400	38,400	
	合 計				311,600	算出数量 1,000 式
	単 価		式		311,600	
	*** S 単 - 3号 ***					
S63003	外部技術者の選定		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	0.00人 0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	1,000	人	57,000	57,000	
	合 計				121,800	算出数量 1,000 式
	単 価		式		121,800	
	*** S 単 - 4号 ***					
S63003	技術検討会の企画・結果取りまとめ		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.00人 0.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	3.00人 3.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04005	技師 (B)	3,000	人	47,200	141,600	

事業名	土地改良技術					
業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務					
業務別業務名:九州農政局管内国営事業総合支援業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
R04006	技師(C)	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員	5.000	人	33,600	168,000	
	合 計				424,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		424,800	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	成果品とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師(B)	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師(C)	1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				264,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		264,400	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63010	打合せ(初回:Web)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	着手前・最終		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師(A)	0.500	人	57,000	28,500	
	合 計				60,900	算出数量 1.000 回
	単 価		回		60,900	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63010	打合せ(中間:Web)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04004	技師(A)	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師(B)	0.500	人	47,200	23,600	
	合 計				52,100	算出数量 1.000 回
	単 価		回		52,100	

事業名	土地改良技術					
業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務					
業務別業務名:九州農政局管内国営事業総合支援業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 8号 ***					
S63010	打合せ(最終:対面)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種、着手前・最終、1.00人、1.00人、0.00人、0.00人、0.5日、0.5			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人				
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.500日				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
	合 計				121,800	算出数量 1.000回
	単 価		回		121,800	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63010	技術検討会出席		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種、着手前・最終、1.00人、1.00人、0.00人、0.00人、1日、1日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	1.000日 1.000日				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師(A)	2.000	人	57,000	114,000	
	合 計				243,600	算出数量 1.000回
	単 価		回		243,600	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63011	打合せ旅費(最終)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種、着手前・最終、通勤により打合せ、一般交通機関、0日、1			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	00km L(100km以上)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	1人 1人				
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.50日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別) 14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円 910円				
	15)バス往復1人当料金(税別) 16)船舶往復1人当料金(税別)	1,272円 0円				
	17)航空往復1人当料金(税別) 18)ライトバン使用日数	35,046円 0日				
	20)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	910	1,820	
P54307	バス料金 消費税抜き	2.000	人	1,272	2,544	
P54309	航空料金 消費税抜き	2.000	人	35,046	70,092	
	合 計				74,456	算出数量 1.000回
	単 価		回		74,456	

事業名	土地改良技術					
業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務					
業務別業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務					
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 11号 ***					
S63011	技術検討会(一ツ瀬川・一般交通)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種、着手前・最終、滞在して打合せ、乙地、なし、一般交通機関、 0日、,100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬季補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	豪雪補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	1人 1人				
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	1.00日 1.00日				
	9)宿泊区分 10)宿泊地	滞在して打合せ 乙地				
	11)補正区分 12)交通機関区分	なし 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別) 14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円 910円				
	15)バス往復1人当料金(税別) 16)船舶往復1人当料金(税別)	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金(税別) 18)ライトバン使用日数	37,342円 0日				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き		2,000	人	2,363	4,726
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き		2,000	人	2,000	4,000
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)		1,000	人	10,727	10,727
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)		1,000	人	8,909	8,909
P54306	鉄道料金 消費税抜き		2,000	人	910	1,820
P54309	航空料金 消費税抜き		2,000	人	37,342	74,684
	合 計				104,866	1,000 回
	単 価		回		104,866	
	*** S 単 - 12号 ***					
S63011	技術検討会(宇城・一般交通)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種、着手前・最終、滞在して打合せ、乙地、なし、一般交通機関、 0日、,100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬季補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	豪雪補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	1人 1人				
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	1.00日 1.00日				
	9)宿泊区分 10)宿泊地	滞在して打合せ 乙地				
	11)補正区分 12)交通機関区分	なし 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別) 14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円 910円				
	15)バス往復1人当料金(税別) 16)船舶往復1人当料金(税別)	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金(税別) 18)ライトバン使用日数	35,046円 0日				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き		2,000	人	2,363	4,726
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き		2,000	人	2,000	4,000
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)		1,000	人	10,727	10,727
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)		1,000	人	8,909	8,909
P54306	鉄道料金 消費税抜き		2,000	人	910	1,820

事業名	土地改良技術					
業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務					
業務別業務名:九州農政局管内国営事業総合支援業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
P54309	航空料金 消費税抜き	2,000	人	35,046	70,092	
	合 計				100,274	算出数量 1,000 回
	単 価		回		100,274	
	*** S 単 - 13号 ***					
S63011	外部技術者(一ツ瀬川・一般交通)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 中間		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 1人 0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	1.00日 1.00日				
	9)宿泊区分 10)宿泊地	滞在して打合せ 乙地				
	11)補正区分 12)交通機関区分	なし 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別) 14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円 910円				
	15)バス往復1人当料金(税別) 16)船舶往復1人当料金(税別)	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金(税別) 18)ライトバン使用日数	37,342円 0日				
	20)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き	2,000	人	2,000	4,000	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1,000	人	8,909	8,909	
P54306	鉄道料金 消費税抜き	1,000	人	910	910	
P54309	航空料金 消費税抜き	1,000	人	37,342	37,342	
	合 計				51,161	算出数量 1,000 回
	単 価		回		51,161	
	*** S 単 - 14号 ***					
S63011	外部技術者(宇城・一般交通)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 中間		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 1人 0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	1.00日 1.00日				
	9)宿泊区分 10)宿泊地	滞在して打合せ 乙地				
	11)補正区分 12)交通機関区分	なし 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別) 14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円 910円				
	15)バス往復1人当料金(税別) 16)船舶往復1人当料金(税別)	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金(税別) 18)ライトバン使用日数	35,046円 0日				
	20)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き	2,000	人	2,000	4,000	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1,000	人	8,909	8,909	
P54306	鉄道料金 消費税抜き	1,000	人	910	910	
P54309	航空料金 消費税抜き	1,000	人	35,046	35,046	

事業名	土地改良技術					
業務名	九州農政局管内国営事業総合支援業務					
業務別業務名:九州農政局管内国営事業総合支援業務						
コード	名 称(規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** T 単 - 1号 ***					
T00001	公開用成果物の作成		式		1.000	歩A 式当たり算出
S02115	技術員	0.500	人	33,600	16,800	S 単 1号
P43603	D V D - R D V D - R 片面1層 4.7 G B	1.000	枚	33	33	
	合 計				16,833	算出数量 1.000 式
	単 価		式		16,833	
	*** T 単 - 2号 ***					
T00002	外部技術者 謝金(一ツ瀬川地区)		人		1.000	歩A 人当たり算出
P96001	委員 謝金	2.000	日	7,181	14,362	
S63011	外部技術者(一ツ瀬川・一般交通) 一般工種,中間,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L (10 0km以上)	1.000	回	51,161	51,161	S 単 13号
	合 計				65,523	算出数量 1.000 人
	単 価		人		65,523	
	*** T 単 - 3号 ***					
T00003	外部技術者 謝金(宇城地区)		人		1.000	歩A 人当たり算出
P96001	委員 謝金	2.000	日	7,181	14,362	
S63011	外部技術者(宇城・一般交通) 一般工種,中間,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L (10 0km以上)	1.000	回	48,865	48,865	S 単 14号
	合 計				63,227	算出数量 1.000 人
	単 価		人		63,227	
	*** T 単 - 4号 ***					
T00004	レンタカー費用(一ツ瀬川地区)		式		1.000	歩A 式当たり算出
	1500CC以下					
K96001	レンタカー(一ツ瀬川) 1500CC以下	1.000	式	11,609	11,609	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	5.000	L	156	780	
P96002	有料道路料金(往復)	1.000	式	546	546	
	合 計				12,935	算出数量 1.000 式
	単 価		式		12,935	
	*** T 単 - 5号 ***					
T00005	レンタカー費用(宇城地区)		式		1.000	歩A 式当たり算出
	1500CC以下					
K96002	レンタカー(宇城地区) 1500CC以下	1.000	式	12,818	12,818	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	3.600	L	156	562	
P96003	高速道路料金(往復)	1.000	式	1,218	1,218	
	合 計				14,598	算出数量 1.000 式
	単 価		式		14,598	

令和 6 年度

九州農政局管内国営事業総合支援業務

特 別 仕 様 書

九州農政局土地改良技術事務所

第1章 総則

第1－1条（適用範囲）

本業務の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1－2条（目的）

本業務は、九州農政局管内の国営事業地区が抱えている設計・施工等の課題に対し、外部技術者の視点や技術力等を活用しながら、機動的に課題の解決を図り、事業の適切かつ円滑な推進に寄与するとともに、農政局技術者の技術力向上に資することを目的とする。

第1－3条（場所）

本業務の対象地区は、国営かんがい排水事業一つ瀬川地区（宮崎県西都市・高鍋町・新富町・木城町地内）及び国営緊急農地再編整備事業宇城地区（熊本県宇城市地内）であり、別添図に示すとおりである。

第1－4条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序・方法等については監督職員と緊密に連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は、常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

第1－5条（管理技術者）

管理技術者は、共通仕様書第1－6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博 士	農 学	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

第1－6条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1－8条によるものとする

第1－7条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1－11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1－12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置づけられた技術者を登録対象とする。

第1－8条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に記載されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2－1条（貸与資料）

貸与資料は次のとおりである。

番号	貸与資料	数量	備考
1	平成24年度国営造成水利施設保全対策指導事業 一ツ瀬川地区施設機能診断調査業務 報告書	1部	一ツ瀬川地区
2	令和3年度国営土地改良事業地区調査 一ツ瀬川地区施設整備計画資料作成業務 報告書	1部	〃
3	令和元年度 地区調査宇城地区事業計画書（案） 取りまとめ業務 報告書	1部	宇城地区
4	令和3年度 出村・宇土割工区区画整理検討業務 報告書	1部	〃
5	令和4年度 出村・宇土割工区区画整理実施設計 (その1) 業務 報告書	1部	〃
6	令和4年度 出村・宇土割工区区画整理実施設計 (その2) 業務 報告書	1部	〃
7	令和4年度 出村・宇土割工区区画整理実施設計 (その3) 業務 報告書	1部	〃

第2－2条（貸与資料の取扱い）

第2－1条に示す貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時までに返納しなければならない。

第2－3条（関連業務）

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、業務実施に当たっては、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに調整を図らなければならない。

業務名	業務実施期間
令和5年度 一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路付帯施設測量設計（その1）業務	令和6年6月28日 ～令和7年2月4日
令和5年度 宇城農地整備事業 出村・宇土割工区区画整理実施設計（その5）業務	令和6年6月19日 ～令和7年2月28日

第3章 作業内容

第3－1条（作業項目、作業内容及び数量）

本業務における作業項目、作業内容及び数量は次のとおりである。なお、詳細は別紙「作業項目内訳表」に示すとおりである。

また、技術検討会の開催時期、場所は次のとおりを想定している。

区分	時期	場所	備考
一ツ瀬川地区	令和7年1月中旬	宮崎県児湯郡高鍋町	(現地・室内)
宇城地区	令和6年12月	熊本県宇城市松橋町	(現地・室内)

※技術検討会へは管理技術者の他1名の出席を想定している。

会議資料の作成及び会場は実施事業所で確保する予定であるが、協議の上、受注者が行う場合は設計変更の対象とする。

1 一ツ瀬川地区

(1) 準備作業

貸与資料等の内容を把握する。

(2) 外部技術者の選定

改修予定の幹線水路付帯施設に関する知見を有する外部技術者の候補者をリストアップし、発注者との協議及び候補者との調整の上、外部技術者2名を決定する。

(3) 技術検討会（現地調査・室内）の企画・運営・結果とりまとめ

外部技術者、農政局・実施事業所・土地改良技術事務所担当者等による現地調査及び室内検討会（各々半日程度）を企画・運営（出席）し、改修予定施設について関連業務で検討する施工計画等に係る外部技術者の助言、検討課題、留意事項等の整理を行うとともに、議事要旨及び議事録を作成する。

関連業務は令和5年度一ツ瀬川農業水利事業幹線水路付帯施設測量設計（その1）

業務（業務期間：令和6年6月28日～令和7年2月4日）である。

(4) 成果品のとりまとめ

成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。

2 宇城地区

(1) 準備作業

貸与資料等の内容を把握する。

(2) 外部技術者の選定

実施予定の出村・宇土割工区における区画整理工事に関する知見を有する外部技術者の候補者をリストアップし、発注者との協議及び候補者との調整の上、外部技術者2名を決定する。

(3) 技術検討会（現地調査・室内）の企画・運営・結果とりまとめ

外部技術者、農政局・実施事業所・土地改良技術事務所担当者等による現地調査及び室内検討会（各々半日程度）を企画・運営（出席）し、実施予定工事について関連業務で検討する施工計画等に係る外部技術者の助言、検討課題、留意事項等の整理を行うとともに、議事要旨及び議事録を作成する。

関連業務は令和5年度宇城農地整備事業 出村・宇土割工区区画整理実施設計（その5）業務（業務期間：令和6年6月19日～令和7年2月28日）である。

(4) 成果品のとりまとめ

成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。

第3－2条（作業の留意点）

本業務における作業の実施に当たっては、特に次の点に留意するものとする。

(1) 第2－1条及び共通仕様書に示す貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

(2) 受注者は、関連業務の管理技術者と緊密に連携し、互いの業務成果について整合を図らなければならない。

(3) 受注者は、発注者から技術的課題の把握、関連する技術の利用に当たっての評価等を行うための聞き取り調査等の実施を求められた場合、これに協力しなければな

らない。

第3－3条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

（1）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参考すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信性憑確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（2）機器等の導入

1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（3）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

1) 受注者は、（1）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記（1）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（4）写真の納品

受注者は、（3）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に

URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（5）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

第4－1条（打合せ）

共通仕様書第1－10条の打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、第1回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

第1回 作業着手前の段階（WEB会議形式）

第2回 一ツ瀬川地区技術検討会の開催前（WEB会議形式）

第3回 宇城地区技術検討会の開催前（WEB会議形式）

最終回 報告書の原稿作成段階（対面方式）

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当者は、業務打合せ記録簿

を作成し、その内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

第5章 成果物

第5－1条（成果物）

受注者は、共通仕様書第1章第1-17条に基づく成果物として次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等）正1部、副2部
- (2) 成果物の出力3部（電子媒体の出力、市販ファイル綴りで可）

第5－2条（不開示成果物の作成及び提出）

第5－1条に記載している成果物（PDFファイル）に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その個所を黒塗りする処置を行い提出しなければならない。

- (1) 開示用成果物の電子媒体（CD-R等）1部

第5－3条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本市東区東町4丁目5-7
九州農政局土地改良技術事務所

第6章 契約変更

第6－1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3－1条に示す「作業項目、作業内容及び数量」に変更が生じた場合
- (2) 第4－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (3) 第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (4) 履行期間に変更が生じた場合
- (5) その他

第7章 定めなき事項

第7－1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 作業項目内訳表（1）

作業項目	作業内容	数量
1 一ツ瀬川地区	<p>国営一ツ瀬川農業水利事業（S47年度～S60年度）で造成された幹線水路の弁室周りの管水路で腐食による漏水が発生しているため補修を行うもので、また、弁類は耐用年数を超過し老朽化が進行しているため併せて更新を行うものである。</p> <p>埋設されている幹線水路（$\phi 2,000\text{mm} \sim \phi 350\text{mm}$）について下記の点を考慮して、管水路の付帯施設（空気弁室他）の改修工法及び施工計画に関する指導・助言を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 付帯施設の一部は民地内に設置されている箇所があり、施工の実施にあたり工事用道路、施工ヤード、工法等に制限がある。 	
(1) 準備作業	貸与資料等の内容を把握する。	1式
(2) 外部技術者の選定	改修予定の幹線水路付帯施設に関する知見を有する外部技術者の候補者をリストアップし、発注者との協議及び候補者との調整の上、外部技術者2名を決定する。	1式
(3) 技術検討会の企画・運営・結果取りまとめ	外部技術者、農政局・実施事業所・土地改良技術事務所担当者等による現地調査及び室内検討会（各々半日程度）を企画・運営（出席）し、改修予定施設について関連業務で検討する施工計画等に係る外部技術者の助言、検討課題、留意事項等の整理を行うとともに、議事要旨及び議事録を作成する。	1式
(4) 成果品とりまとめ	成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	1式

関連業務は令和5年度一ツ瀬川農業水利事業幹線水路付帯施設測量設計（その1）業務（業務期間：令和6年6月28日～令和7年2月4日）である。

別紙 作業項目内訳表（2）

作業項目	作業内容	数量
2 宇城地区	本区画整理工事の現状は单年度での施工としており、道路工の一部を除き、圃場に係る工事（道路工、水路工、整地工、管水路工）は全て水稻作付期間には施工ができない。このため、稻刈り後（10月下旬頃）からの着手となり、施工期間は短く限定的。加えて各工種が錯綜する他、資機材搬入等に利用できる既設道路は限定されているため、工期の長期化が懸念され、单年度での施工方法の策定が課題となっている。このため、施工計画上の課題を把握し、水稻の休業面積を極力抑制する施工方法等を活用した最適な工程計画、施工計画及び工区割に関する指導・助言を行う。	
(1) 準備作業	貸与資料等の内容を把握する。	1式
(2) 外部技術者の選定	実施予定の出村・宇土割工区における区画整理工事に関連する知見を有する外部技術者の候補者をリストアップし、発注者との協議及び候補者との調整の上、外部技術者2名を決定する。	1式
(3) 技術検討会の企画・運営・結果取りまとめ	外部技術者、農政局・実施事業所・土地改良技術事務所担当者等による現地調査及び室内検討会（各々半日程度）を企画・運営（出席）し、実施予定工事について関連業務で検討する施工計画等に係る外部技術者の助言、検討課題、留意事項等の整理を行うとともに、議事要旨及び議事録を作成する。	1式
(4) 成果品とりまとめ	成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	1式

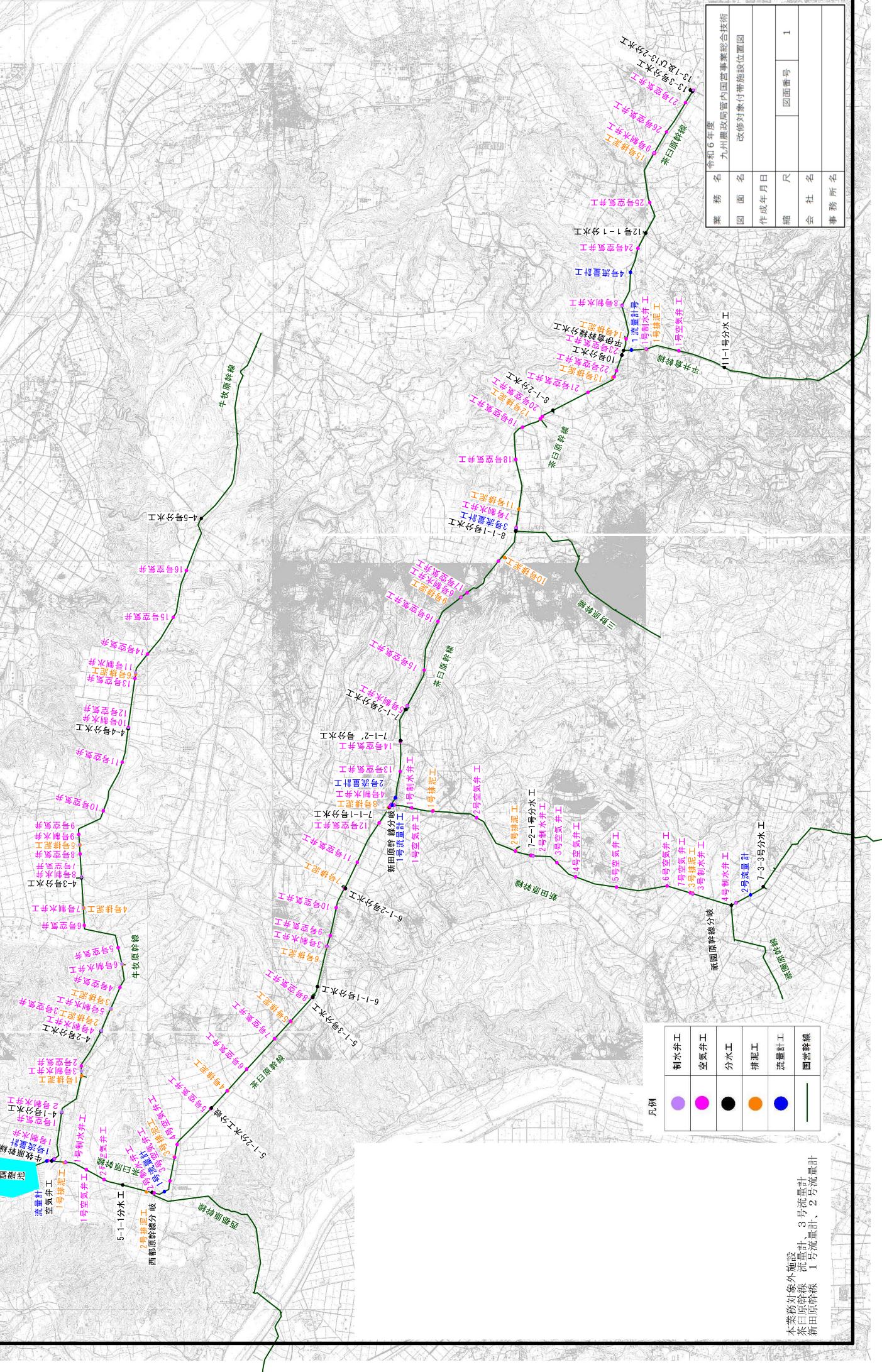
関連業務は令和5年度宇城農地整備事業 出村・宇土割工区区画整理実施設計（その5）業務（業務期間：令和6年6月19日～令和7年2月28日）である。

令和6年度
九州農政局管内国営事業総合支援業務

図面目録

図面番号	図面名称	枚数	備考
1	改修対象付帯施設位置図	1	一ツ瀬川地区
2	幹線水路改修計画図	1	〃
3	出村・宇土割工区位置図	1	宇城地区
(参考図)	出村・宇土割換地計画（案）	1	〃
計		4	

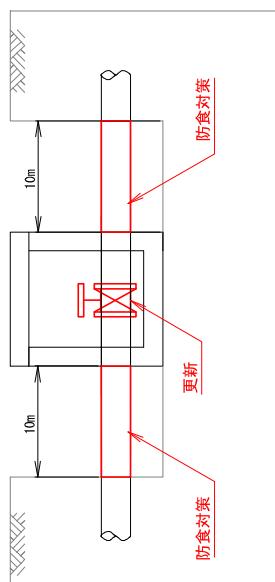
改修対象付帯施設設置図



幹線水路改修計画図

幹線水路名	名称	対策工			箇所数
		①防食対策・弁更新	②弁のみ更新	③補修弁のみ更新	
奈良原	制水弁工	6	3	0	9
	空気弁工	2	6	21	29
	分水工	11	3	0	14
	排泥工	5	9	1	15
	流量計	3	-	-	3
	小計	27	21	22	70箇所
牛牧原	制水弁工	2	9	0	11
	空気弁工	0	1	15	16
	分水工	0	5	0	5
	排泥工	1	5	0	6
	流量計	1	-	-	1
	小計	4	20	15	39箇所
新田原	制水弁工	1	3	0	4
	空気弁工	0	2	5	7
	分水工	0	2	0	2
	排泥工	0	3	0	3
	流量計	0	-	-	0
	小計	1	10	5	16箇所
平井倉	制水弁工	1	0	0	1
	空気弁工	0	0	1	1
	分水工	1	0	0	1
	排泥工	0	1	0	1
	流量計	1	-	-	1
	小計	3	1	1	5箇所
					130箇所

幹線水路防食対策工
断面図 non scale

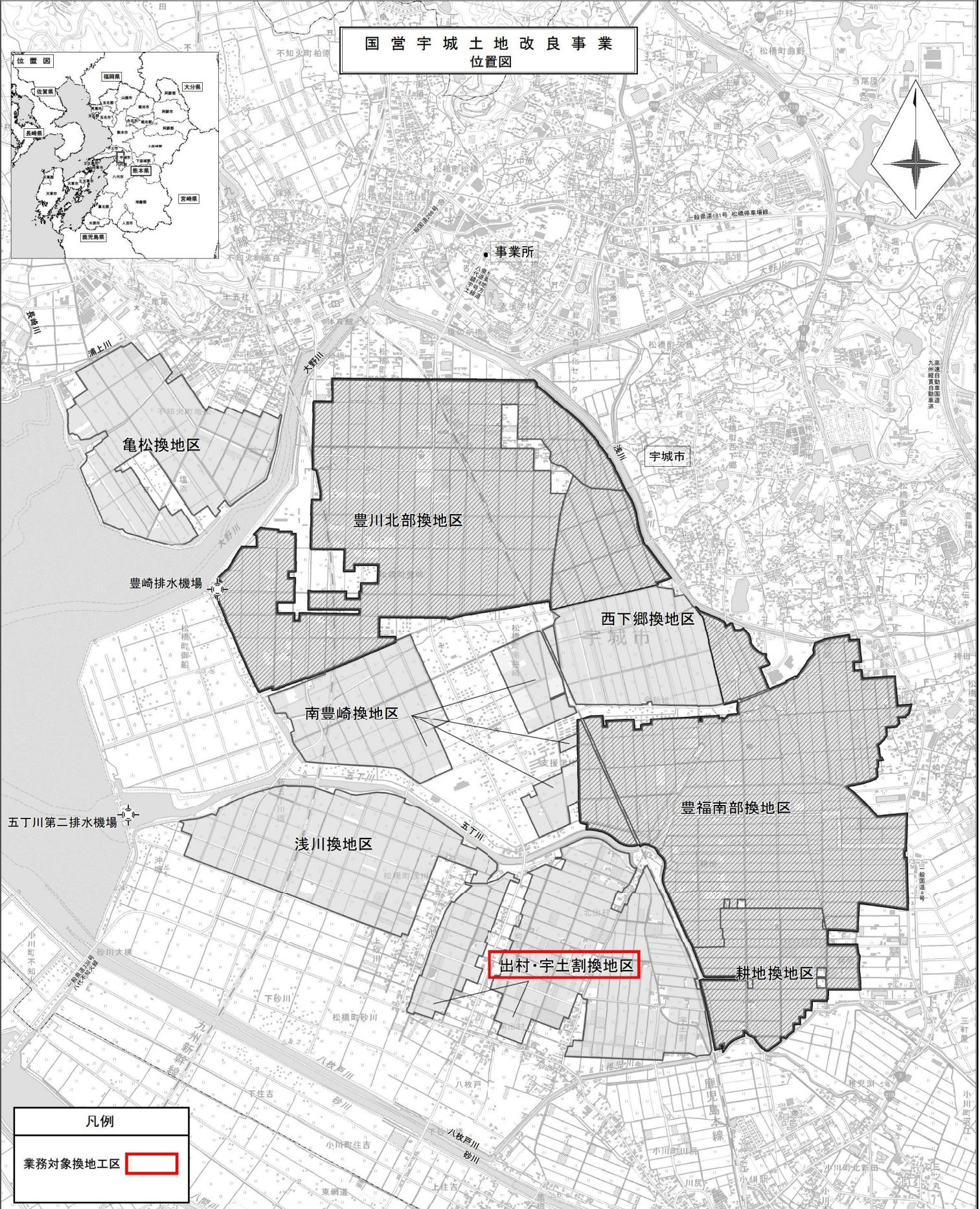
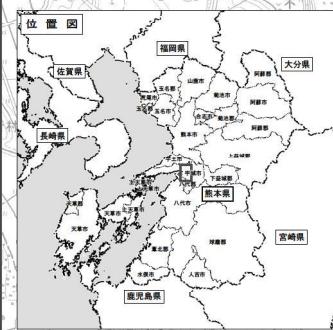


流量計は、防食対策のみ。

整備対象

業務名	令和6年度 九州農政局管内国営事業総合技術 幹線水路改修計画図
図面名	幹線水路改修計画図
作成年月日	
縮尺	
会社名	2
事務所名	

国営宇城土地改良事業
位置図



凡例

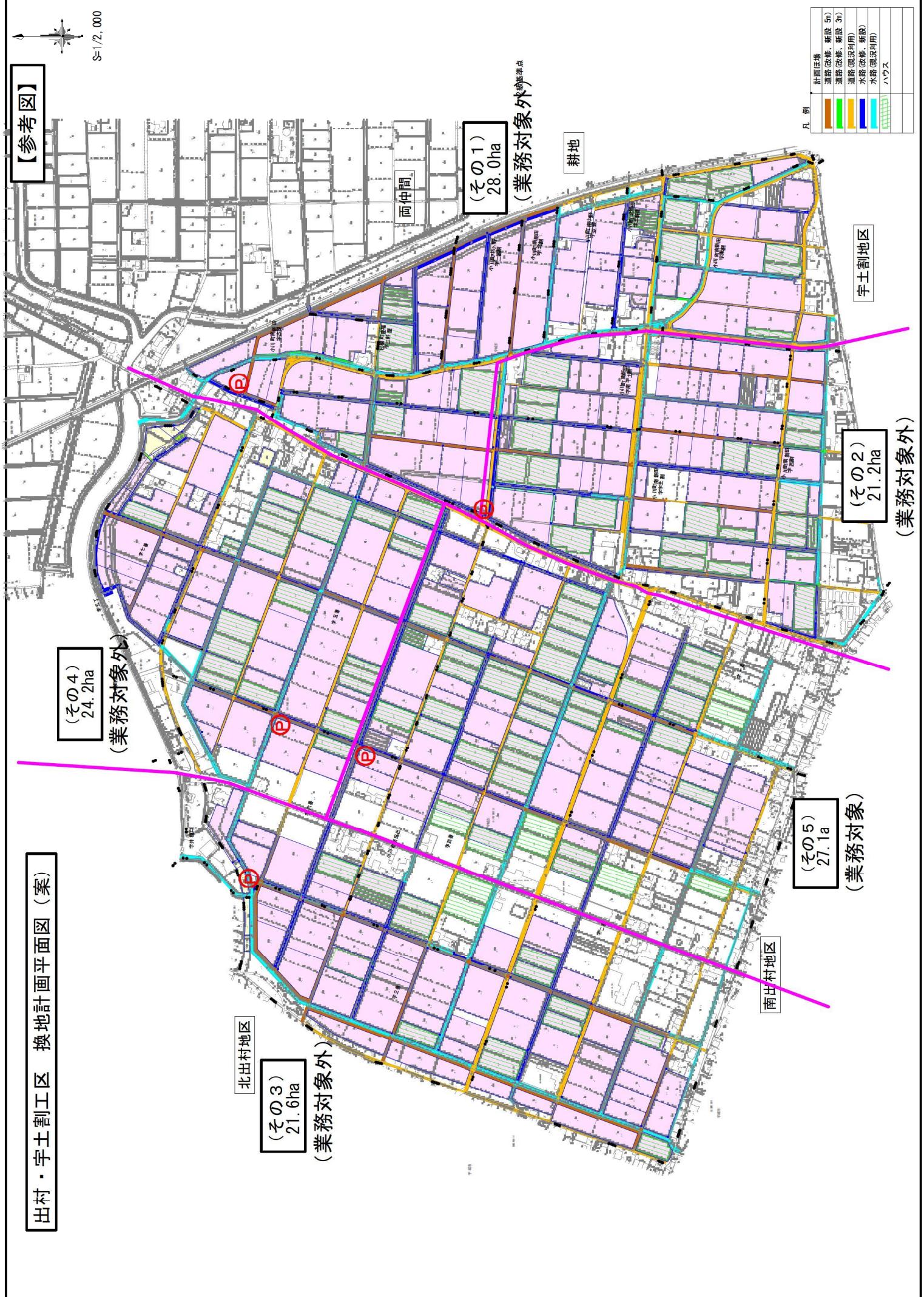
業務対象換地工区

凡 例	
受 益 地 (水 田)	
受 益 地 (普 通 畑)	
受 益 地 (非 農 用 地)	
事 業 地 域 (区 面 整 理)	
事 業 地 域 (排 水 改 良)	
事 業 地 域 (区 面 整 理 と 排 水 改 良 の 重 叠)	
国 営 排 水 機 場 (新 設)	
市 町 村 界	

業 務 名	令和 6 年度 九州農政局管内国営事業総合技術		
図 面 名	出村・宇土割工区位置図		
作 成 年 月 日			
縮 尺		図面番号	3
会 社 名			
事 務 所 名			

S = 1:10,000
0 500 1,000 m

【参考図】



令和 6 年度

九州農政局管内国営事業総合支援業務

特 別 仕 様 書

九州農政局土地改良技術事務所

第1章 総則

第1－1条（適用範囲）

本業務の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1－2条（目的）

本業務は、九州農政局管内の国営事業地区が抱えている設計・施工等の課題に対し、外部技術者の視点や技術力等を活用しながら、機動的に課題の解決を図り、事業の適切かつ円滑な推進に寄与するとともに、農政局技術者の技術力向上に資することを目的とする。

第1－3条（場所）

本業務の対象地区は、国営かんがい排水事業一つ瀬川地区（宮崎県西都市・高鍋町・新富町・木城町地内）及び国営緊急農地再編整備事業宇城地区（熊本県宇城市地内）であり、別添図に示すとおりである。

第1－4条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序・方法等については監督職員と緊密に連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は、常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

第1－5条（管理技術者）

管理技術者は、共通仕様書第1－6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博 士	農 学	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

第1－6条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1－8条によるものとする

第1－7条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1－11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1－12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置づけられた技術者を登録対象とする。

第1－8条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に記載されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2－1条（貸与資料）

貸与資料は次のとおりである。

番号	貸与資料	数量	備考
1	平成24年度国営造成水利施設保全対策指導事業 一ツ瀬川地区施設機能診断調査業務 報告書	1部	一ツ瀬川地区
2	令和3年度国営土地改良事業地区調査 一ツ瀬川地区施設整備計画資料作成業務 報告書	1部	〃
3	令和元年度 地区調査宇城地区事業計画書（案） 取りまとめ業務 報告書	1部	宇城地区
4	令和3年度 出村・宇土割工区区画整理検討業務 報告書	1部	〃
5	令和4年度 出村・宇土割工区区画整理実施設計 (その1) 業務 報告書	1部	〃
6	令和4年度 出村・宇土割工区区画整理実施設計 (その2) 業務 報告書	1部	〃
7	令和4年度 出村・宇土割工区区画整理実施設計 (その3) 業務 報告書	1部	〃

第2－2条（貸与資料の取扱い）

第2－1条に示す貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時までに返納しなければならない。

第2－3条（関連業務）

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、業務実施に当たっては、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに調整を図らなければならない。

業務名	業務実施期間
令和5年度 一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路付帯施設測量設計（その1）業務	令和6年6月28日 ～令和7年2月4日
令和5年度 宇城農地整備事業 出村・宇土割工区区画整理実施設計（その5）業務	令和6年6月19日 ～令和7年2月28日

第3章 作業内容

第3－1条（作業項目、作業内容及び数量）

本業務における作業項目、作業内容及び数量は次のとおりである。なお、詳細は別紙「作業項目内訳表」に示すとおりである。

また、技術検討会の開催時期、場所は次のとおりを想定している。

区分	時期	場所	備考
一ツ瀬川地区	令和7年1月中旬	宮崎県児湯郡高鍋町	(現地・室内)
宇城地区	令和6年12月	熊本県宇城市松橋町	(現地・室内)

※技術検討会へは管理技術者の他1名の出席を想定している。

会議資料の作成及び会場は実施事業所で確保する予定であるが、協議の上、受注者が行う場合は設計変更の対象とする。

1 一ツ瀬川地区

(1) 準備作業

貸与資料等の内容を把握する。

(2) 外部技術者の選定

改修予定の幹線水路付帯施設に関する知見を有する外部技術者の候補者をリストアップし、発注者との協議及び候補者との調整の上、外部技術者2名を決定する。

(3) 技術検討会（現地調査・室内）の企画・運営・結果とりまとめ

外部技術者、農政局・実施事業所・土地改良技術事務所担当者等による現地調査及び室内検討会（各々半日程度）を企画・運営（出席）し、改修予定施設について関連業務で検討する施工計画等に係る外部技術者の助言、検討課題、留意事項等の整理を行うとともに、議事要旨及び議事録を作成する。

関連業務は令和5年度一ツ瀬川農業水利事業幹線水路付帯施設測量設計（その1）

業務（業務期間：令和6年6月28日～令和7年2月4日）である。

(4) 成果品のとりまとめ

成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。

2 宇城地区

(1) 準備作業

貸与資料等の内容を把握する。

(2) 外部技術者の選定

実施予定の出村・宇土割工区における区画整理工事に関する知見を有する外部技術者の候補者をリストアップし、発注者との協議及び候補者との調整の上、外部技術者2名を決定する。

(3) 技術検討会（現地調査・室内）の企画・運営・結果とりまとめ

外部技術者、農政局・実施事業所・土地改良技術事務所担当者等による現地調査及び室内検討会（各々半日程度）を企画・運営（出席）し、実施予定工事について関連業務で検討する施工計画等に係る外部技術者の助言、検討課題、留意事項等の整理を行うとともに、議事要旨及び議事録を作成する。

関連業務は令和5年度宇城農地整備事業 出村・宇土割工区区画整理実施設計（その5）業務（業務期間：令和6年6月19日～令和7年2月28日）である。

(4) 成果品のとりまとめ

成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。

第3－2条（作業の留意点）

本業務における作業の実施に当たっては、特に次の点に留意するものとする。

(1) 第2－1条及び共通仕様書に示す貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

(2) 受注者は、関連業務の管理技術者と緊密に連携し、互いの業務成果について整合を図らなければならない。

(3) 受注者は、発注者から技術的課題の把握、関連する技術の利用に当たっての評価等を行うための聞き取り調査等の実施を求められた場合、これに協力しなければな

らない。

第3－3条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

（1）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参考すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信性憑確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（2）機器等の導入

1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（3）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

1) 受注者は、（1）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記（1）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（4）写真の納品

受注者は、（3）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に

URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（5）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

第4－1条（打合せ）

共通仕様書第1－10条の打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、第1回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

第1回 作業着手前の段階（WEB会議形式）

第2回 一ツ瀬川地区技術検討会の開催前（WEB会議形式）

第3回 宇城地区技術検討会の開催前（WEB会議形式）

最終回 報告書の原稿作成段階（対面方式）

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当者は、業務打合せ記録簿

を作成し、その内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

第5章 成果物

第5－1条（成果物）

受注者は、共通仕様書第1章第1-17条に基づく成果物として次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等）正1部、副2部
- (2) 成果物の出力3部（電子媒体の出力、市販ファイル綴りで可）

第5－2条（不開示成果物の作成及び提出）

第5－1条に記載している成果物（PDFファイル）に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その個所を黒塗りする処置を行い提出しなければならない。

- (1) 開示用成果物の電子媒体（CD-R等）1部

第5－3条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本市東区東町4丁目5-7
九州農政局土地改良技術事務所

第6章 契約変更

第6－1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3－1条に示す「作業項目、作業内容及び数量」に変更が生じた場合
- (2) 第4－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (3) 第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (4) 履行期間に変更が生じた場合
- (5) その他

第7章 定めなき事項

第7－1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 作業項目内訳表（1）

作業項目	作業内容	数量
1 一ツ瀬川地区	<p>国営一ツ瀬川農業水利事業（S47年度～S60年度）で造成された幹線水路の弁室周りの管水路で腐食による漏水が発生しているため補修を行うもので、また、弁類は耐用年数を超過し老朽化が進行しているため併せて更新を行うものである。</p> <p>埋設されている幹線水路（$\phi 2,000\text{mm} \sim \phi 350\text{mm}$）について下記の点を考慮して、管水路の付帯施設（空気弁室他）の改修工法及び施工計画に関する指導・助言を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 付帯施設の一部は民地内に設置されている箇所があり、施工の実施にあたり工事用道路、施工ヤード、工法等に制限がある。 	
(1) 準備作業	貸与資料等の内容を把握する。	1式
(2) 外部技術者の選定	改修予定の幹線水路付帯施設に関する知見を有する外部技術者の候補者をリストアップし、発注者との協議及び候補者との調整の上、外部技術者2名を決定する。	1式
(3) 技術検討会の企画・運営・結果取りまとめ	外部技術者、農政局・実施事業所・土地改良技術事務所担当者等による現地調査及び室内検討会（各々半日程度）を企画・運営（出席）し、改修予定施設について関連業務で検討する施工計画等に係る外部技術者の助言、検討課題、留意事項等の整理を行うとともに、議事要旨及び議事録を作成する。	1式
(4) 成果品とりまとめ	成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	1式

関連業務は令和5年度一ツ瀬川農業水利事業幹線水路付帯施設測量設計（その1）業務（業務期間：令和6年6月28日～令和7年2月4日）である。

別紙 作業項目内訳表（2）

作業項目	作業内容	数量
2 宇城地区	本区画整理工事の現状は单年度での施工としており、道路工の一部を除き、圃場に係る工事（道路工、水路工、整地工、管水路工）は全て水稻作付期間には施工ができない。このため、稻刈り後（10月下旬頃）からの着手となり、施工期間は短く限定的。加えて各工種が錯綜する他、資機材搬入等に利用できる既設道路は限定されているため、工期の長期化が懸念され、单年度での施工方法の策定が課題となっている。このため、施工計画上の課題を把握し、水稻の休業面積を極力抑制する施工方法等を活用した最適な工程計画、施工計画及び工区割に関する指導・助言を行う。	
(1) 準備作業	貸与資料等の内容を把握する。	1式
(2) 外部技術者の選定	実施予定の出村・宇土割工区における区画整理工事に関連する知見を有する外部技術者の候補者をリストアップし、発注者との協議及び候補者との調整の上、外部技術者2名を決定する。	1式
(3) 技術検討会の企画・運営・結果取りまとめ	外部技術者、農政局・実施事業所・土地改良技術事務所担当者等による現地調査及び室内検討会（各々半日程度）を企画・運営（出席）し、実施予定工事について関連業務で検討する施工計画等に係る外部技術者の助言、検討課題、留意事項等の整理を行うとともに、議事要旨及び議事録を作成する。	1式
(4) 成果品とりまとめ	成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	1式

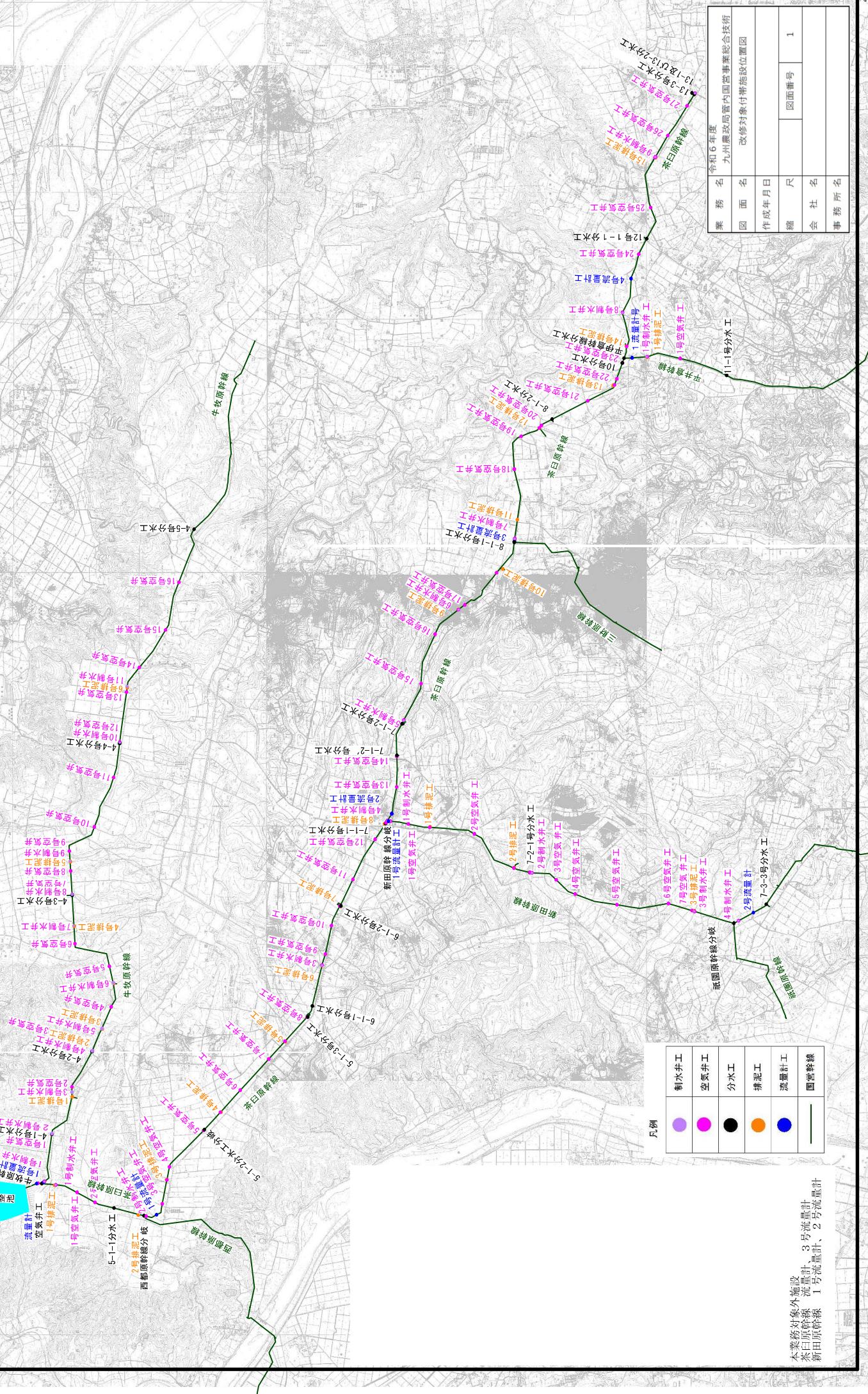
関連業務は令和5年度宇城農地整備事業 出村・宇土割工区区画整理実施設計（その5）業務（業務期間：令和6年6月19日～令和7年2月28日）である。

令和6年度
九州農政局管内国営事業総合支援業務

図面目録

図面番号	図面名称	枚数	備考
1	改修対象付帯施設位置図	1	一ツ瀬川地区
2	幹線水路改修計画図	1	〃
3	出村・宇土割工区位置図	1	宇城地区
(参考図)	出村・宇土割換地計画（案）	1	〃
計		4	

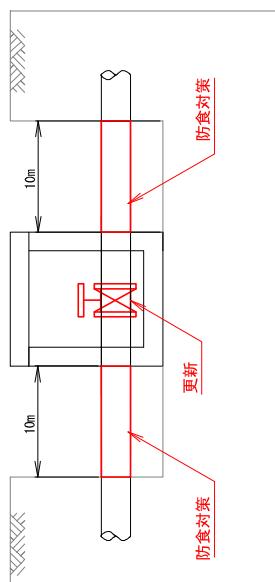
改修対象付施設位置図



幹線水路改修計画図

幹線水路名	名称	対策工			箇所数
		①防食対策・弁更新	②弁のみ更新	③補修弁のみ更新	
奈良原	制水弁工	6	3	0	9
	空気弁工	2	6	21	29
	分水工	11	3	0	14
	排泥工	5	9	1	15
	流量計	3	-	-	3
	小計	27	21	22	70箇所
牛牧原	制水弁工	2	9	0	11
	空気弁工	0	1	15	16
	分水工	0	5	0	5
	排泥工	1	5	0	6
	流量計	1	-	-	1
	小計	4	20	15	39箇所
新田原	制水弁工	1	3	0	4
	空気弁工	0	2	5	7
	分水工	0	2	0	2
	排泥工	0	3	0	3
	流量計	0	-	-	0
	小計	1	10	5	16箇所
平井倉	制水弁工	1	0	0	1
	空気弁工	0	0	1	1
	分水工	1	0	0	1
	排泥工	0	1	0	1
	流量計	1	-	-	1
	小計	3	1	1	5箇所
					130箇所

幹線水路防食対策工
断面図 non scale

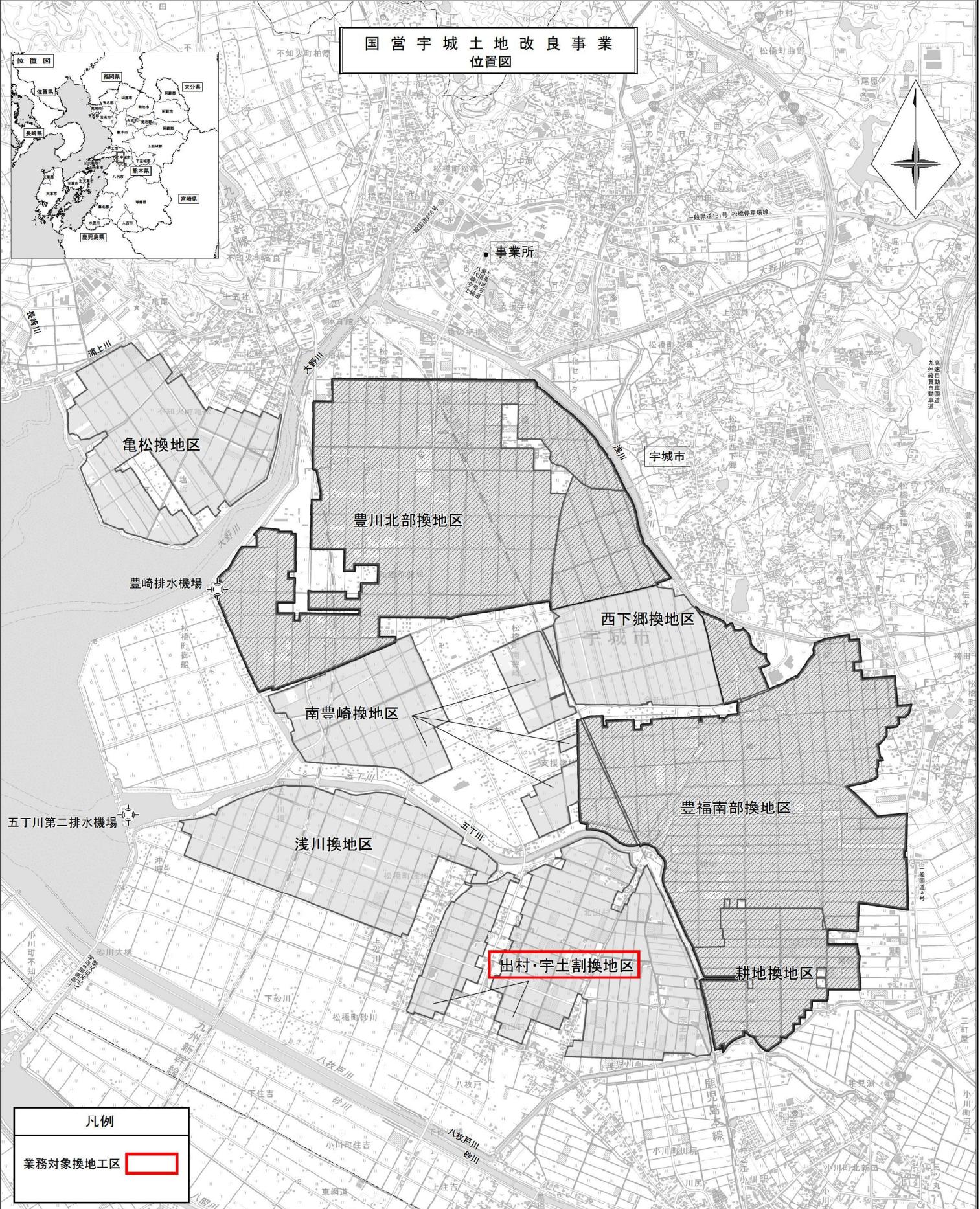
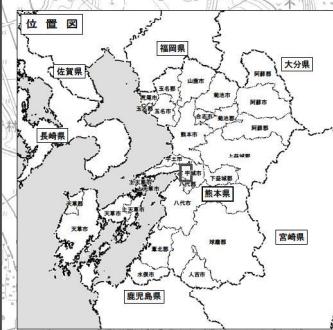


流量計は、防食対策のみ。

整備対象

業務名	令和6年度 九州農政局管内国営事業総合技術 幹線水路改修計画図
図面名	幹線水路改修計画図
作成年月日	
縮尺	
会社名	2
事務所名	

国営宇城土地改良事業
位置図



凡例

業務対象換地工区

八代郡氷川町

凡 例

受 益 地 (水 田)
受 益 地 (普 通 畑)
受 益 地 (非 農 用 地)
事 業 地 域 (区 国 整 理)
事 業 地 域 (排 水 改 良)
事 業 地 域 (区 国 整 理 と 排 水 改 良 の 重 叠)
国 営 排 水 機 場 (新 設)
市 町 町 村 界

業 務 名	令和 6 年度 九州農政局管内国営事業総合技術		
図 面 名	出村・宇土割工区位置図		
作 成 年 月 日			
縮 尺	1:10,000	図面番号	3
会 社 名			
事 務 所 名			

S = 1:10,000 1,000 m

【参考図】

